

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名> 胆膵疾患に関する内視鏡検査・治療の有用性と合併症に関する臨床研究</p>
<p><研究機関・研究責任者名> 日本大学病院 消化器内科 (研究責任者) 高橋利実</p>
<p><研究期間> 承認日 ~ 西暦 2025 年 12 月 31 日</p>
<p><研究の目的と意義> 内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査(ERCP)関連手技や超音波内視鏡(EUS)関連手技は、胆膵疾患の診断と治療において非常に重要な欠かせない手技となっており、近年、機器開発が進み、その対象となる病気や診断・治療内容が複雑、多様化してきています。そのため、その多様化に対応した診断・治療の確実性や安全性が求められています。本研究は当院の胆膵疾患に対してのERCP・EUS関連手技に関するデータを集積し、それを本手技の診断・治療の確実性、安全性を高めるための対策に役立てることが目的です。</p>
<p><利用する試料・情報の項目> ①年齢・性別・身長・体重・嗜好(飲酒・喫煙習慣)・現病歴・既往歴 ②血液検査の値 ③画像所見(経腹超音波検査・内視鏡検査・CT・MRI 検査・血管造影検査)</p>
<p><対象となる患者さん> 当院消化器肝臓内科で西暦 2014 年 1 月から西暦年月までに胆膵疾患の診断・治療目的で内視鏡治療を施行された 20 歳以上の方。</p>
<p><研究の方法> 2014年1月から20年月までに、当院にて胆膵疾患の診断・治療目的で内視鏡治療を施行された方の、治療時の年齢・性別・身長・体重・嗜好(飲酒・喫煙習慣)・現病歴・既往歴・血液検査所見・画像所見・治療法・背景疾患を評価します。診療録からその後の経過を調べ、検査処置成績・偶発症有無・予後を同定し、他項目との関連について解析を行い、リスク因子などを評価します。</p>
<p><お問い合わせ窓口> 日本大学病院(東京都千代田区神田駿河台 1-6) 消化器内科 氏名:高橋 利実 電話:03-3293-1711 内線:(PHS)5481</p>